

運営推進会議会議録

(1) 令和4年度実績報告

事業所名	梁川ホームデイサービスセンター
開催日時	令和5年4月25日(火) 14:00~15:00
開催場所	梁川ホーム家族介護者教育室
参加者	利用者家族代表者 3名 地域住民代表 2名 社会福祉協議会 1名 福祉事業所 3名 事業所職員 4名
議題	(1) 令和4年度実績報告 (2) 活動報告 (3) 事故、ヒヤリ・はっと報告 (4) 意見交換・質疑応答 (5) 次回運営推進会議日程について

<利用状況>

通所介護（Ⅰ型）定員25名 認知症対応型通所介護（Ⅱ型）定員12名

○利用者数

		R.4 10月	11月	12月	R.5 1月	2月	3月
稼働日数		26人	26人	25人	24人	24人	27人
Ⅰ型	利用者数(延べ)	352人	504人	486人	413人	423人	467人
	平均利用人数	14人	19人	19人	17人	18人	18人
	登録人数	80人	79人	83人	79人	80人	78人
	うち要支援	9人	8人	7人	7人	7人	7人
Ⅱ型	利用者数(延べ)	156人	133人	187人	158人	148人	147人
	平均利用人数	6人	5人	8人	7人	6人	5人
	登録人数	25人	24人	27人	25人	22人	23人
	うち要支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人

○介護別登録者状況（令和5年3月現在）男女比（3月登録分）総数101人 男30：女71

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
Ⅰ型	0人	7人	19人	19人	15人	11人	7人	78人
Ⅱ型	0人	0人	9人	5人	3人	3人	3人	23人

○平均要介護度（令和4年度）

I型	2.3
II型	2.4

○年齢別利用者状況（令和5年3月現在）

	60代	70代	80代	90代	100代	平均年齢
I型	2人	11人	38人	26人	1人	85歳
II型	0人	2人	13人	8人	0人	88.81歳

(2) <活動状況>

月	デイの行事
10月	芋煮会、制作活動、各種ゲーム
11月	焼き芋、花植え、制作活動、各種ゲーム
12月	クリスマス会、あんぼがけ、忘年会
1月	新年会、カルタ取り、口腔体操
2月	豆まき、川柳、健康体操
3月	ひな祭り、お茶会、各種ゲーム

※そのほか毎月 デイサービス便り発行 お誕生日会の開催
デイサービス便りを使用しI型、II型の活動を紹介

(3) 事故・ヒヤリはっと報告、苦情報告（令和4年10月～令和5年3月）

<事故・ヒヤリはっと報告>

事故件数 7件

ヒヤリ・はっと 38件

<苦情>

受付件数 0件

(4) 意見交換・質疑応答

○【利用者家族 S様】

母はデイサービスに行くのがとても楽しみな様子で、利用日でない時もマスクをして玄関に出ていることがあります。

週3回通っているのですが、家ではお風呂から早く上がってきて頭を洗っていないこともあるようなのですが。

【事業所】

利用中は朝に検温、血圧測定を行って血圧が高くない時には、ほぼ入浴し洗髪も行っています。また、ご利用者の中には毎日自宅で入っているからと、入浴を希望されない方もいます。

○【利用者家族 Y様】

介護度が4、5の方だと対象が特養にお世話になるくらいですか？

【事業所】

介護度が高くなることは身体的に寝たきりという状態だけではなく、認知症の進行状況でも食事や排泄など、すべてにおいて何らかのサポートが必要となる状況もあります。その方にかかわる手間で介護度が上がってしまうこともあります。

○【利用者家族 K様】

ヒヤリ・はっと項目の送迎ミス、備品所持とはどういった内容なのですか？

【事業所】

送迎ミスとは、アパートの棟違いをしたことで、部屋番号のみを確認して迎えに行ったところ、部屋番号はあっていたが、実際は隣の建物だったということです。備品所持は連絡帳、整容に使用していたクシを手にしたリ、ポケットにしまわれたりされることをヒヤリ・はっととして報告しています。

○【福祉事業所 T様】

写真を見せていただき、皆さん楽しそうな表情をしています。マスクをすることが大変な方もいる中できちんとマスクをしています。送迎車両には何人乗るのでしょうか、また感染対策は。

【事業所】

利用者様にはマスク着用を協力していただいておりますが、理解してもらうことの難しさもあります。利用者様が負担やストレスを感じないようにその時々で臨機応変に対応しています。

1車両に多くて6名。乗車したら窓を開けて換気をして、手指消毒を行い送迎終了時には車両内も消毒しています。

○【利用者家族 C様】

コロナ対策で面会の制限を行っていますが、家族が面会できるようになるのはいつになりますか。

【事業所】

現在、特養では同居家族の方に限り、予約で陰圧ブースを使用した面会を行っています。また、看取りになられた方に限り、居室での面会をしています。コロナが落ち着いてきていますが、なくなったわけではないので状況に応じて考えていきます。

○【利用者家族 D様】

ヒヤリ・はっと転倒、尻もちとありますが、通院などの有無はありますか。

【事業所】

隣の利用者の杖に足を取られ転倒した事故です。歩行中はいつも付き添いをおこなっているため、大きな怪我もなく、その後もご家族体調確認の連絡をおこないましたが通までには至っていません。

尻もちも、迎えを待つ際は玄関でソファに座るときに浅く腰かけて静かに尻もちをついたものがありました。幸い、ソファが低かったことと、職員が近くにいたことで怪我は防ぐことができました。

○【福祉事業所 T様】

10月のヒヤリ・はっとで、事故にも、ヒヤリ・はっとにも転倒がありますが、その違いは。

【事業所】

事故は処置をしたもので、ヒヤリ・はっとは、処置がなかったもので区別しています。事故や、ヒヤリ・はっとなった際には、ご家族様に連絡を取り次の日にも状態確認をおこなっています。

○【その他】

稼働率を上げる方策はありますか。

【事業所】

認知症が増加してきている中、ケアマネの方々に認知症対応型の情報提供をしていきます。地域の方にも開示をしていきまして、我々職員も様々な研修を行いサービスの質の向上に向けていきます。

【福祉事業所 I様】

認知症型という名前で勧誘が難しいと思います。まだ、認知症という名前に抵抗があるようです。

外部のケアマネからもⅡ型というと家族に勧めにくいとの話も聞かれます。まずは、認知症対応型の特徴である個別に適切なケアをおこなうところであり、少人数で利用しているところというアピールポイントを出し、また、ご利用者様ご家族からの声などもお便りに載せて良い点をご家族に勧めてはどうでしょうか。

【福祉事業所 H様】

稼働率が全体に減少しているわけではなく、今までは、農業など国民年金受給者が多く、年金額が少ない方が多かったが、現在の70、80歳代は厚生年金で、グループホームや、有料老人ホーム等へ移行してきています。自宅でデイサービスの利用を続けながら在宅で介護を続けることが減少してきています。どこも苦慮しています。良いところをアピールしていくことが大切ではないでしょうか。

お忙しい中にもかかわらずお集まりいただき、たくさんのご意見をいただくことができました。ご指摘をいただいた項目については改善してまいります。常にご利用者の立場でサービスの提供ができるよう努めていきます。

(4) 次回運営推進会議日程について

令和5年10月頃に開催予定